

令和4年度 入学者募集要項 (出願書類添付)

主 要 日 程		
一般推薦ならびに 課題達成型推薦 による選抜	出 願 期 間	令和4年1月4日(火)～1月6日(木)
	面 接 日	令和4年1月15日(土)
	内 定 通 知 日	令和4年1月20日(木)
	入学確約書提出期限	令和4年1月27日(木)
学力検査による 選 抜	出 願 期 間	令和4年1月24日(月)～1月28日(金)
	検 査 日	令和4年2月13日(日)
	合 格 発 表 日	令和4年2月17日(木)
	入学確約書提出期限	令和4年2月22日(火)
帰国子女 特 別 選 抜	出 願 期 間	令和4年1月4日(火)～1月28日(金)
	検 査 日	令和4年2月13日(日)
	合 格 発 表 日	令和4年2月17日(木)
	入学確約書提出期限	令和4年2月22日(火)
一般推薦ならびに 課題達成型推薦 による選抜 (追 試 験)	面 接 日	令和4年1月29日(土)
	内 定 通 知 日	令和4年2月3日(木)
	入学確約書提出期限	令和4年2月10日(木)
学力による選抜・ 帰国子女特別選抜 (追 試 験)	検 査 日	令和4年2月27日(日)
	合 格 発 表 日	令和4年3月2日(水)
	入学確約書提出期限	令和4年3月7日(月)



独立行政法人国立高等専門学校機構
福島工業高等専門学校

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

TEL 0246-46-0721 (学生課入試係)

FAX 0246-46-0742 (学 生 課)

URL <https://www.fukushima-nct.ac.jp/>

※令和4年度入学者選抜試験において、新型コロナウイルス感染症拡大等の今後の状況により、本募集要項公表後に選抜方法等を変更する可能性があります。

なお、最新の情報は本校ホームページをご覧ください。

目 次

令和4年度入学者募集要項

福島工業高等専門学校の入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
I 募集人員	3
II 選抜方法	3
一般推薦による選抜	
1 出願資格	3
2 願書受付	3
3 出願手続等	4
4 選抜方法	4
5 受験上の注意事項	5
6 判定結果の通知	5
7 合格内定者の入学確約書提出	5
8 合格者発表等	5
9 合格内定とならなかった場合の取り扱い	6
課題達成型推薦による選抜	
1 出願資格	7
2 願書受付	7
3 出願手続等	7
4 選抜方法	8
5 受験上の注意事項	8
6 判定結果の通知	9
7 合格内定者の入学確約書提出	9
8 合格者発表等	9
9 合格内定とならなかった場合の取り扱い	9
学力検査による選抜	
1 出願資格	10
2 願書受付	10
3 出願手続等	10
4 選抜方法	11
5 受験上の注意事項	11
6 合格者発表等	12
7 入学確約書の提出	12

帰国子女特別選抜

1 出願資格	13
2 願書受付	13
3 出願手続等	14
4 選抜方法	15
5 受験上の注意事項	15
6 合格者発表等	16
7 入学確約書の提出	16
8 注意事項	16

追試験	17
追加合格	17

受験にあたっての各種案内

1 留意事項	18
2 個人情報の利用について	18
3 資料案内	18
4 入試成績の簡易開示について	18
5 検定料振り込みについての注意	20

「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について	21
------------------------------	----

福島工業高等専門学校の種類教育目標

1 学習・教育目標	22
2 福島高専ディプロマポリシー（卒業認定方針）	22
3 福島高専カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）	23

出願書類等

入学願書・写真票・受験票	1部
入学願書・写真票・受験票「記入上の注意」	1部
調査書	1部
調査書「記入上の注意」	1部
推薦書	1部
活動報告書（課題達成型推薦用）	1部
活動報告書「記入上の注意」（課題達成型推薦用）	1部
帰国子女特別選抜海外在住状況説明書	1部
検定料納入書	1部

福島工業高等専門学校の入学者受入方針 (アドミッションポリシー)

アドミッションポリシー（入学者受入方針）は、本校の学習・教育目標を達成できる能力を持った人を入学させるための方針で、次のように定められています。

求める学生像

【全学科】

- (1) 基礎的学習内容を十分に理解し、自ら学ぼうとする人（知識・技能）
- (2) 自ら目標を立て、達成に向けて粘り強く努力する人（思考力・判断力・表現力）
- (3) あらゆる物事に興味を持ち、深く探究する人（思考力・判断力・表現力）
- (4) 創造的な「モノづくり」に強い興味を持っている人（主体性・協働）
- (5) しっかりしたモラルを持ち、まわりの人たちを尊重する人（主体性・協働）

【機械システム工学科】

- (1) ロボット技術や機械の仕組みに興味があり、アイデアを形にしたい人
- (2) 環境にやさしいエネルギー技術に関心のある人
- (3) モノづくりの知識と技術を身に付けて、将来、地域の発展に貢献したい人

【電気電子システム工学科】

- (1) ロボット制御技術、エネルギー技術、情報通信技術に興味があり、将来、その技術者として社会に貢献したい人
- (2) 電気回路やコンピュータ、センサなどを駆使して、様々なシステムをつくりあげたい人
- (3) 電気・電子・情報について学んだ知識を応用して、自分のアイデアを形にしたい人
- (4) 電気電子技術をベースとして、農林水産業、サービス業など様々な業種に関心を持ち、これらの産業を活性化したいと考えている人

【化学・バイオ工学科】

- (1) 化学やバイオテクノロジーの知識と技術を身につけて、将来、その技術者として地域・社会に貢献したい人
- (2) 地球に優しい化学技術や新素材をつくり、環境問題の解決、持続可能な社会の構築を目指したい人
- (3) 学んだ化学バイオ技術を、農林水産資源の生産・管理や有効活用に役立てたいと考える人

【都市システム工学科】

- (1) 自然環境と調和した建設技術に興味を持っている人
- (2) 道路・橋・港など建設構造物の維持管理に興味を持っている人
- (3) 災害に負けない安全なまちづくりに貢献したい人

【ビジネスコミュニケーション学科】

- (1) 社会・経済のしくみや動きに広く関心のある人
- (2) 外国語によるコミュニケーション能力を高めて、グローバルに活躍したい人
- (3) 情報リテラシーを身につけて、高度情報化社会で活躍したい人
- (4) 地球環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献したい人

入学者選抜の基本方針

福島高専では以下の点を重視して、入学者の選抜を行います。

- (1) 中学校で学習する国語・社会・数学・理科・英語の学習内容を十分に理解していることを学力検査で評価します。
- (2) 中学校での成績評価が良好なことを調査書および推薦書で評価します。
- (3) 課題達成型推薦入試においては、モノづくりや課外活動などの課題に取り組み、顕著な結果を残していることを活動報告書で評価します。

令和4年度入学者募集要項

I 募集人員

学 科	入学定員	推薦入学の募集人員は各学科とも「一般推薦による選抜」15人、「課題達成型推薦による選抜」5人とします。 学力検査による選抜の募集人員は20人とします。 また、「帰国子女特別選抜」の募集人員は各学科若干名とし、学力検査による選抜の定員に含まれます。
機械システム工学科	40人	
電気電子システム工学科	40人	
化学・バイオ工学科	40人	
都市システム工学科	40人	
ビジネスコミュニケーション学科	40人	
計	200人	

II 選抜方法

入学者の選抜は、「一般推薦による選抜」、「課題達成型推薦による選抜」、「学力検査による選抜」、「帰国子女特別選抜」の4つの方法で行います。

なお、「帰国子女特別選抜」に出願する場合は、「一般推薦による選抜」、「課題達成型推薦による選抜」、「学力検査による選抜」との併願はできません。

一般推薦による選抜

1 出願資格

出願することができる者は、令和4年3月に中学校もしくは義務教育学校を卒業見込みの者または中等教育学校の前期課程を修了見込みの者で、次の各号のすべてに該当し、在籍学校長が責任をもって推薦する者とします。

- (1) 本校への入学意思が確実で、人物が優れている者
- (2) 当該学科を志望する動機、理由が明確でかつ適切である者
- (3) 当該学科に対して、適性、興味および関心を有する者
- (4) 第1学年、第2学年、第3学年1学期および第3学年2学期の必修5教科(国語、社会、数学、理科、外国語)の5段階評定の合計が**84以上**でかつ他の4教科(音楽、美術、保健体育、技術家庭)の5段階評定の合計が**60以上**(2学期制の場合は第3学年前期の評定を2倍して計算する)である者

なお、第3学年において教科の評定に1がないこと。

2 願書受付

- (1) 受付期間 **令和4年1月4日(火)～1月6日(木)**
(郵送の場合は、**1月6日(木)16時必着**とします。)
- (2) 受付時間 9時～12時、13時～16時
- (3) 受付場所 福島工業高等専門学校 学生課入試係
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL 0246-46-0721 FAX 0246-46-0742
- (4) 受験票 受験票は、願書受付締切後に面接時間を調整したうえで、1月7日以降に在籍学校長あて送付します(出願書類を持参する場合でも、3「出願手続等」の⑦の「返信用封筒」を必ず提出してください)。
なお、受験票が1月12日午後になっても届かない場合は、お手数ですが本校入試係にお問い合わせください。

3 出願手続等

次の書類等を**受験者ごと**にとりまとめ、在籍学校長を経て提出してください。なお、出願書類は、なるべく学校ごとに一括してください。郵送の場合は、封筒の表に「**一般推薦入学願書 在中**」と記載し、簡易書留郵便としてください。

① 入学願書 「所定用紙」	必要事項を記入してください。
② 受験票 「所定用紙」	必要事項を記入してください。
③ 写真票 「所定用紙」	必要事項を記入の上、令和3年11月以降に撮影した正面脱帽の顔写真(縦4.5cm×横3.5cm, 鮮明なカラー写真)をはってください。
④ 推薦書 「所定用紙」	在籍学校長が記載し、厳封したものを提出してください。
⑤ 調査書 「所定用紙」	在籍学校長が記載し、厳封したものを提出してください。
⑥ 入学検定料 「所定用紙」	入学検定料16,500円を「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」(高専提出用)を出願書類に同封してください。なお、ATM(現金自動預払機)、携帯電話およびパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください(郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は20頁「5 検定料振り込みについての注意」をご覧ください)。また、既納の検定料は以下の場合以外、返還しません。 <ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料を納付したが出願しなかった場合 (本校で出願書類を受理した時点で、出願とみなします) ・入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
⑦ 返信用封筒 (受験票送付用)	長形3号封筒に在籍学校名、郵便番号・住所を記入し、344円切手(速達郵便分、8名以上の出願がある場合は354円切手)をはったものを、1学校につき1通提出してください。出願書類を持参する場合も必ず提出してください。

注1 障がい等を有する者で、受験に際し特別な措置を必要とする者は、出願の2ヶ月前までに相談する内容を文書等で本校学生課入試係に申し出てください。

4 選抜方法

在籍学校長から提出された推薦書、調査書の内容および一人15分程度行われる面接(志望学科の専門に関連した基礎的な質問を含む)の結果を総合判定して行います。

〈面接の日時・場所〉

日 時	場 所
令和4年1月15日(土) 前半の部 9時30分～ 後半の部 12時30分～	福島工業高等専門学校 (いわき市平上荒川字長尾30)

5 受験上の注意事項

(1) 面接当日の日程は次のとおりです。受付の際は受験票を提示してください。

区分/項目	受 付	全体注意	面接開始
前半の部	8時30分～9時00分	9時10分～9時20分	9時30分
後半の部	11時30分～12時00分	12時10分～12時20分	12時30分

(2) 受験者の面接期日・時間区分（前半の部・後半の部）は、願書受け付け締め切り後に、各学校長に送付する受験票に記載してありますので、必ず確認してください。

(3) 「前半の部」の受験者は、「後半の部」の受付が終了し、指示があるまでは控室から退出（帰宅）できません。ただし、控室では水分補給や読書ができます。

「後半の部」の受験者は、自分の面接等が終了次第帰宅できます。

(4) 受験票裏面の「受験者心得」をよく読んでおいてください。

(5) 受験票を紛失または忘れた等の場合は、再発行しますので、本校学生課入試係に申し出てください。

6 判定結果の通知

令和4年1月20日（木）に、判定結果の通知書を本人および在籍学校長に郵便で発送するとともに、同日10時以降に合格内定者の受験番号を本校ホームページに掲載します。

ホームページアドレス <https://www.fukushima-nct.ac.jp/>

なお、電話等による問い合わせはご遠慮ください。

合格内定者は、7 合格内定者の入学確約書提出 を参照し、入学確約書を提出してください。

7 合格内定者の入学確約書提出

選抜の結果、合格内定の通知を受けた者は、令和4年1月27日（木）までに本校所定の用紙による「入学確約書」を提出してください。期日までに「入学確約書」の提出がない場合は、入学の意思がないものとして取り扱います。

8 合格者発表等

(1) 合格者発表

合格者は、一般推薦による選抜、課題達成型推薦による選抜、学力検査による選抜、帰国子女特別選抜の結果を合わせ、次により発表します。

① 発表日 令和4年2月17日（木）

② 方 法

合格者本人および出身（在籍）学校長に合格者名等を文書で通知します。電話等による問い合わせはご遠慮ください。

(2) 合格者情報の提供

合格者の合格学科名と受験番号を令和4年2月17日（木）10時以降に本校ホームページに掲載します。ただし、合格者の発表は、前記（1）の②の通知が公式なものとなりますのでご注意ください。

ホームページアドレス <https://www.fukushima-nct.ac.jp/>

(3) 入学手続

合格者は、合格通知書に添付して送付される「合格者心得」により、令和4年2月18日(金)～2月22日(火)の期間に入学に必要な手続きを行ってください。

9 合格内定とならなかった場合の取り扱い

(1) 合格内定とならなかった受験者は、その時点で学力検査による選抜の出願者となることができます。

なお、志望学科や志望順位の変更はできません。出願書類は、一般推薦による選抜の際に提出したものをそのまま使用しますので、改めて出願手続きをする必要はありません。検定料の再納付も必要ありません。

(2) 学力検査は、「**学力検査による選抜**」の**4 選抜方法**により行います。ただし、学力選抜を辞退する場合は、本人・保護者連名のうえ在籍学校を通して、令和4年1月27日(木)までに辞退届（様式は任意）を提出してください。

課題達成型推薦による選抜

1 出願資格

出願することができる者は、令和4年3月に中学校もしくは義務教育学校を卒業見込みの者または中等教育学校の前期課程を修了見込みの者で、次の各号のすべてに該当し、在籍学校長が責任をもって推薦する者としてします。

- (1) 本校への入学意思が確実で、人物が優れている者
- (2) 当該学科を志望する動機、理由が明確でかつ適切である者
- (3) 当該学科に対して、適性、興味および関心を有する者
- (4) 第1学年、第2学年、第3学年1学期および第3学年2学期の必修5教科（国語、社会、数学、理科、外国語）の5段階評定の合計が**84以上**でかつ他の4教科（音楽、美術、保健体育、技術家庭）の5段階評定の合計が**60以上**（2学期制の場合は第3学年前期の評定を2倍して計算する）である者

なお、第3学年において教科の評定に1がないこと。

- (5) 中学校在学時の活動において、次の条件の**いずれか1つ以上**を満たしている者（具体的には活動報告書「記入上の注意」を参照してください）
 - ① 「モノづくり」に関する活動において、公的な機関が主催する都道府県規模以上の大会等で入賞以上の成績をおさめた。
 - ② 「スポーツ、文化・芸術」に関する活動（学校外での活動を含む）において、公的な機関が主催する大会等で、県大会入賞以上の成績、地方大会・全国大会等出場以上の成績をおさめた。または県選抜以上の代表として大会等に出場した。
 - ③ 「学術・研究」に関する活動において、公的な機関が主催する都道府県規模以上の大会等で入賞以上の成績をおさめた。
 - ④ 資格・検定において、高校生レベル以上の級・種別を取得した。
 - ⑤ 中学校において、生徒会長をつとめた。

2 願書受付

一般推薦と同じ

3 出願手続等

次の書類等を受験者ごとにとりまとめ、在籍学校長を経て提出してください。なお、出願書類は、なるべく学校ごと一括してください。郵送の場合は、封筒の表に「課題達成型推薦入学願書在中」と記載し、簡易書留郵便としてください。

① 入学願書 「所定用紙」	必要事項を記入してください。
② 受験票 「所定用紙」	必要事項を記入してください。
③ 写真票 「所定用紙」	必要事項を記入の上、令和3年11月以降に撮影した正面脱帽の顔写真（縦4.5 cm×横3.5 cm、鮮明なカラー写真）をはってください。

④ 推 薦 書 「所定用紙」	在籍学校長が記載し、厳封したものを提出してください。
⑤ 調 査 書 「所定用紙」	在籍学校長が記載し、厳封したものを提出してください。
⑥ 活 動 報 告 書 「所定用紙」	在籍学校長が記載したもの。 活動報告書には、出願資格(5)のうち該当するすべての活動について詳細に記載してください。 活動結果を証明できる書類の写し(要項、結果など)を添付してください。
⑦ 入 学 検 定 料 「所定用紙」	入学検定料16,500円を「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」(高専提出用)を出願書類に同封してください。なお、ATM(現金自動預払機)、携帯電話およびパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください(郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は20頁「5 検定料振り込みについての注意」をご覧ください)。また、既納の検定料は以下の場合以外、返還しません。 ・入学検定料を納付したが出願しなかった場合 (本校で出願書類を受理した時点で、出願とみなします) ・入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
⑧ 返 信 用 封 筒 (受験票送付用)	長形3号封筒に在籍学校名、郵便番号・住所を記入し、344円切手(速達郵便分、8名以上の出願がある場合は354円切手)をはったものを、1学校につき1通提出してください。出願書類を持参する場合も必ず提出してください。

注1 障がい等を有する者で、受験に際し特別な措置を必要とする者は、出願の2ヶ月前までに相談する内容を文書等で本校学生課入試係に申し出てください。

注2 活動報告書に添付する「活動結果を証明できる書類の写し(要項・結果など)」が用意できない場合は、発行元、または主催者が発行する書類をもってこれに代えることができます。

4 選 抜 方 法

在籍学校長から提出された推薦書、調査書、活動報告書の内容および一人15分程度行われる面接(志望学科の専門に関連した基礎的な質問を含む)の結果を総合判定して行います。

〈面接の日時・場所〉

日 時	場 所
令和4年1月15日(土) 前半の部 9時30分～ 後半の部 12時30分～	福 島 工 業 高 等 専 門 学 校 (いわき市平上荒川字長尾30)

5 受 験 上 の 注 意 事 項

一般推薦に同じ

6 判定結果の通知

一般推薦に同じ

7 合格内定者の入学確約書提出

一般推薦に同じ

8 合格者発表等

一般推薦に同じ

9 合格内定とならなかった場合の取り扱い

- (1) 課題達成型推薦による選抜の結果、合格内定とならなかった受験者は、その時点で一般推薦による選抜の出願者となり、合否の判定を受けます。一般推薦による選抜の結果、合格内定とならなかった受験者は、学力検査による選抜の出願者となることができます。

なお、志望学科や志望順位の変更はできません。出願書類は課題達成型推薦による選抜の際に提出したものをそのまま使用しますので、改めて出願手続きをする必要はありません。検定料の再納付も必要ありません。

- (2) 学力検査は、「**学力検査による選抜**」の**4 選抜方法**により行います。ただし、学力選抜を辞退する場合は、本人・保護者連名のうえ在籍学校を通して、**令和4年1月27日(木)**までに辞退届(様式は任意)を提出してください。

学力検査による選抜

1 出願資格

出願することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 中学校もしくは義務教育学校を卒業した者または令和4年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者または令和4年3月修了見込みの者
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第95条）

2 願書受付

- (1) 受付期間 **令和4年1月24日(月)～1月28日(金)**
(郵送の場合は、**1月28日(金) 16時必着**とします。)
- (2) 受付時間 9時～12時、13時～16時
- (3) 受付場所 福島工業高等専門学校 学生課入試係
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL 0246-46-0721 FAX 0246-46-0742

3 出願手続等

次の書類等を**受験者ごと**にとりまとめ、出身(在籍)学校長を経て提出してください。ただし、出願資格の(3)に該当する者は、直接提出してください。

なお、出願書類は、なるべく学校ごとに一括してください。郵送の場合は、封筒の表に**「学力検査入学願書在中」**と記載し、簡易書留郵便としてください。

① 入学願書 「所定用紙」	必要事項を記入してください。
② 受験票 「所定用紙」	必要事項を記入してください。
③ 写真票 「所定用紙」	必要事項を記入の上、令和3年11月以降に撮影した正面脱帽の顔写真（縦4.5cm×横3.5cm、鮮明なカラー写真）をはってください。
④ 調査書 「所定用紙」	出身（在籍）学校長が記載し、厳封したものを提出してください。
⑤ 入学検定料 「所定用紙」	入学検定料16,500円を「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」（高専提出用）を出願書類に同封してください。なお、ATM（現金自動預払機）、携帯電話およびパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください（郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は20頁「5 検定料振り込みについての注意」をご覧ください）。また、既納の検定料は以下の場合以外、返還しません。 <ul style="list-style-type: none">・入学検定料を納付したが出願しなかった場合 (本校で出願書類を受理した時点で、出願とみなします)・入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

⑥ 返信用封筒 (受験票送付用)	長形3号封筒に、志願者または学校の郵便番号・住所・氏名等を記入し、344円切手(速達郵便分、8名以上の出願がある場合は354円切手)をはってください。ただし、出願書類を持参する場合は不要です。
---------------------	--

注1 障がい等を有する者で、受験に際し特別な措置を必要とする者は、出願の2ヶ月前までに相談する内容を文書等で本校学生課入試係に申し出てください。

4 選抜方法

学力検査の成績および出身(在籍)学校長から提出された調査書の内容を総合判定して行います。学力検査の得点は500点満点とし、内申点は280点満点として評価します。

なお、学力検査の得点で、著しく低い科目がある場合は選抜しないことがあります。

○ 学力検査

① 学力検査科目

理科・英語・数学・国語・社会の5教科とします。

② 学力検査の日時

期 日	検査科目名	時 間
令和4年 2月13日(日)	理 科	9時30分～10時20分
	英 語	10時50分～11時40分
	数 学	12時10分～13時00分
	国 語	13時50分～14時40分
	社 会	15時10分～16時00分

③ 学力検査の場所

(ア) いわき会場 福島工業高等専門学校 (いわき市平上荒川)

(イ) 郡山会場 郡山女子大学 (郡山市開成)

○ 調査書

出身(在籍)中学校長から提出された調査書により審査します。

5 受験上の注意事項

(1) 受付は8時30分に開始します。受付の際は受験票を提示してください。なお、受験生に対する全体注意を行いますので、9時15分までに検査室に入室してください。

(2) 受験票裏面の「受験者心得」をよく読んでおいてください。

(3) 受験票を紛失または忘れた等の場合は、再発行しますので、本校学生課入試係に申し出てください。

(4) 解答はマークシート方式になります。HBの黒鉛筆が最も適しますので、小型の鉛筆削りとともに持参してください。シャープペンシルは、解答が正しく読み取ることができない場合がありますので、HBの黒鉛筆を使用してください。

(5) 自然災害等で検査日程に変更が生じる場合があります。

(6) 着席するときは、受験票・筆記用具および時計のみを携帯してください。

なお、時計で、時間を計る働き以外の機能(アラームや時報を含む)を有するものは使用を禁止します。

- (7) 検査室に時計はありません。
- (8) 不正行為があった場合には、退室を命じ、全科目の検査を無効とします。

6 合格者発表等

(1) 合格者発表

合格者は、一般推薦による選抜、課題達成型推薦による選抜、学力検査による選抜、帰国子女特別選抜の結果を合わせ、次により発表します。

① 発表日 **令和4年2月17日(木)**

② 方法

合格者本人および出身(在籍)学校長に合格者名等を文書で通知します。電話等による問い合わせはご遠慮ください。

(2) 合格者情報の提供

合格者の合格学科名と受験番号を**令和4年2月17日(木) 10時以降**に本校ホームページに掲載します。ただし、合格者の発表は、前記(1)の②の通知が公式なものとなりますのでご注意ください。

ホームページアドレス <https://www.fukushima-nct.ac.jp/>

(3) 入学手続

合格者は、合格通知書に添付して送付される「合格者心得」により、**令和4年2月18日(金)～2月22日(火)**の期間に入学に必要な手続を行ってください。

7 入学確約書の提出

学力検査による合格者は、**令和4年2月22日(火)**までに本校所定の用紙による「入学確約書」を提出してください。期日までに提出がない場合は、入学の意思がないものとして取り扱います。なお、「入学確約書」は本校への入学意思を確認するための重要な手続きです。本校以外への入学を優先する場合は「入学確約書」を提出しないでください。

帰国子女特別選抜

1 出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間中に継続して2年以上正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者で、令和2年4月以降の帰国者）で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 中学校を卒業した者または令和4年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者または令和4年3月修了見込みの者
- (3) 義務教育学校を卒業した者または令和4年3月卒業見込みの者
- (4) 外国において学校教育における9年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者および令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 「文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程」（学校教育法施行規則第95条第2号）を修了した者または令和4年3月31日までに修了見込みの者

(注) (5) でいう「在外教育施設」とは、海外に在留する日本人の子どものために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海外に設置された教育施設のことです。

- (6) その他、福島工業高等専門学校長が認めた者

出願を希望する者は、出願資格等を確認しますので、必ず**令和3年12月3日（金）**までに、本校学生課入試係に電話・電子メール・郵便等により照会してください。

なお、「帰国子女特別選抜」に出願する場合は、「一般推薦による選抜」、「課題達成型推薦による選抜」、「学力検査による選抜」との併願はできません。

2 願書受付

- (1) 受付期間 **令和4年1月4日（火）～1月28日（金）**
(郵送の場合は、**1月28日（金）16時必着**とします。)
- (2) 受付時間 9時～12時、13時～16時
- (3) 受付場所 福島工業高等専門学校 学生課入試係
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL 0246-46-0721 FAX 0246-46-0742

3 出願手続等

次の書類等を取りまとめ、出身（在籍）学校長を経て提出してください。ただし、出願資格の(4)または(5)に該当する者は、直接提出してください。

なお、出願書類は、なるべく学校ごとに一括してください。郵送の場合は、封筒の表に「帰国子女特別選抜入学願書在中」と記載し、簡易書留郵便としてください。

① 入学願書 「所定用紙」	必要事項を記入してください。
② 受験票 「所定用紙」	必要事項を記入してください。
③ 写真票 「所定用紙」	必要事項を記入の上、令和3年11月以降に撮影した正面脱帽の顔写真(縦4.5cm×横3.5cm、鮮明なカラー写真)をはってください。
④ 海外在住状況 説明書「所定用紙」	所定の様式を使い、必要事項を記入してください。
⑤ 入学検定料 「所定用紙」	<p>入学検定料16,500円を「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」(高専提出用)を出願書類に同封してください。なお、ATM(現金自動預払機)、携帯電話およびパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください(郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は20頁「5 検定料振り込みについての注意」をご覧ください)。また、既納の検定料は以下の場合以外、返還しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料を納付したが出願しなかった場合 (本校で出願書類を受理した時点で、出願とみなします) ・入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合 <p>なお、日本国外から送金の場合は、16,500(JPY)を振り込んでください。送金した証明書は、PDFファイルにして電子メールで下記アドレスに送付してください。</p> <p style="text-align: center;">E-mail:nyuushi@fukushima-nct.ac.jp</p>
⑥ 返信用封筒 (受験票送付用)	長形3号封筒に、志願者または学校の郵便番号・住所・氏名等を記入し、344円切手(速達郵便分)をはってください。ただし、出願書類を持参する場合は不要です。
⑦ 永住者の在留資格 が分かるもの ※日本国籍を有しない者	日本国籍を有しない者は、市町村の発行する「住民票の写し」等、永住者の在留資格が分かるものの原本を提出してください。

注1 障がい等を有する者で、受験に際し特別な措置を必要とする者は、出願の2ヶ月前までに相談する内容を文書等で本校学生課入試係に申し出てください。

4 選 抜 方 法

学力検査の成績，出身（在籍）学校長から提出された調査書および面接により総合的に判定します。

なお，学力検査の得点で，著しく低い科目がある場合，また，面接において評価が低い場合は選抜しないことがあります。

○ 学力検査

① 学力検査科目

理科・英語・数学・国語の4教科について試験を行います。

② 学力検査・面接の日時

期 日	検査科目名	時 間
令和4年 2月13日(日)	理 科	9時30分～10時20分
	英 語	10時50分～11時40分
	数 学	12時10分～13時00分
	国 語	13時50分～14時40分
	面 接	15時10分～

③ 学力検査・面接の場所

いわき会場 福島工業高等専門学校（いわき市平上荒川）

④ 試験は，マークシート方式による解答方法となります。

○ 面 接

個人面接とし，一人につき15分程度で行います。

5 受験上の注意事項

(1) 受付は8時30分に開始します。受付の際は受験票を提示してください。なお，受験生に対する全体注意を行いますので，9時15分までに検査室に入室してください。

(2) 受験票裏面の「受験者心得」をよく読んでおいてください。

(3) 受験票を紛失または忘れた等の場合は，再発行しますので，本校学生課入試係に申し出てください。

(4) 解答はマークシート方式になります。HBの黒鉛筆が最も適しますので，小型の鉛筆削りとともに持参してください。シャープペンシルは，解答が正しく読み取ることができない場合がありますので，HBの黒鉛筆を使用してください。

(5) 自然災害等で検査日程に変更が生じる場合があります。

(6) 「国語」の検査終了後面接を行いますので，当日は係の者の指示に従ってください。

(7) 着席するときは，受験票・筆記用具および時計のみを携帯してください。

なお，時計で，時間を計る働き以外の機能（アラームや時報を含む）を有するものは使用を禁止します。

(8) 検査室に時計はありません。

(9) 不正行為があった場合には，退室を命じ，全科目の検査を無効とします。

6 合格者発表等

(1) 合格者発表

合格者は、一般推薦による選抜、課題達成型推薦による選抜、学力検査による選抜、帰国子女特別選抜の結果を合わせ、次により発表します。

① 発表日 令和4年2月17日(木)

② 方法

合格者本人および出身(在籍) 学校長に合格者名等を文書で通知します。電話等による問い合わせはご遠慮ください。

(2) 合格者情報の提供

合格者の合格学科名と受験番号は、令和4年2月17日(木) 10時以降に本校ホームページに掲載します。ただし、合格者の発表は、前記(1)の②の通知が公式なものとなりますのでご注意ください。

ホームページアドレス <https://www.fukushima-nct.ac.jp/>

(3) 入学手続

合格者は、合格通知書に添付して送付される「合格者心得」により、令和4年2月18日(金)～2月22日(火)の期間に入学に必要な手続を行ってください。

7 入学確約書の提出

帰国子女特別選抜による合格者は、令和4年2月22日(火)までに本校所定の用紙による「入学確約書」を提出してください。期日までに提出がない場合は、入学の意思がないものとして取り扱います。なお、「入学確約書」は本校への入学意思を確認するための重要な手続です。本校以外への入学を優先する場合は「入学確約書」を提出しないでください。

8 注意事項

帰国子女特別選抜の文中にある日時は、すべて日本時間の表記としております。

追 試 験

一般推薦ならびに課題達成型推薦による選抜，学力による選抜，または帰国子女特別選抜（以下「各選抜」という）の入学志願者が，インフルエンザまたは新型コロナウイルス感染症等の感染症を理由として各選抜の本試験を受験できなかった場合の対応として，1. の追試験の受験要件等を満たす者を対象に追試験を実施します。

1 追試験の受験要件等

- (1) 次に掲げるものを対象に追試験を実施する。
 - ア 学校保健安全施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という）第十八条に定める感染症に罹患，または罹患している疑いがあり，本試験を受験できない者
 - イ その他，受験者自身の責めに帰すことができない理由で本試験を受験できず，追試験の受験を申請した者で，本校校長がその申請を認めた者
- (2) アに示す本試験を受験できない事由は，中学校等の長または医療機関による証明等により，本校校長が確認するものとする。
- (3) アに示す本試験を受験できない事由を認める期間については，施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

2 追試験実施日及び会場

- (1) 一般推薦ならびに課題達成型推薦による選抜
面接日 令和4年1月29日（土） 会場 福島工業高等専門学校
- (2) 学力による選抜・帰国子女特別選抜
検査日 令和4年2月27日（日） 会場 福島工業高等専門学校

3 判定結果の通知

- (1) 一般推薦ならびに課題達成型推薦による選抜
令和4年2月3日（木）に判定結果の通知書を本人および在籍学校長に郵便で発送するとともに，同日10時以降に合格内定者の受験番号を本校ホームページに掲載します。
合格内定者は令和4年2月10日（木）までに入学確約書を提出してください。
合格者の発表は本試験と同じく，令和4年2月17日（木）に行います。
- (2) 学力による選抜・帰国子女特別選抜
令和4年3月2日（水）に合格者本人および出身（在籍）学校長に合格者名等を文書で通知するとともに，同日10時以降に本校ホームページに合格者の合格学科名と受験番号を掲載します。
合格者は令和4年3月7日（月）までに入学確約書を提出してください。

4 受験上の注意事項

- (1) 追試験の詳細は，対象者に別途通知します。
- (2) 追試験の選抜方法に定めない事項については，各選抜の選抜方法で定めたとおりに実施します。

追 加 合 格

欠員が生じた場合は，追加合格を行うことがあります。

受験にあたっての各種案内

1 留意事項

- (1) 出願書類の受理後は、志望学科や志望順位の変更、記載事項の変更はできません。また、出願書類は返還できません。
- (2) 出願書類に不備のあるものは、受理できません。
- (3) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 令和4年度入学者選抜試験出願者で、その主たる家計支持者が、令和3年度に災害救助法の適用があった地域に居住していて被災した場合には、申請により検定料の免除を行います。詳細は、本校ホームページに掲載しますので、出願書類提出時に関係書類を添えて申請してください。

2 個人情報の利用について

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報および選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに入学後、次の目的以外には利用することはありません。

- (1) 学籍の管理に関する業務
- (2) 教育及び教務上で必要な業務（修学指導、学生指導、課外活動、奨学金に関すること等）
- (3) 学生本人・保護者の皆様への連絡、各種書類の発送及びその他これに付随する業務
- (4) 各種証明書に関する業務
- (5) 健康管理に関する業務
- (6) 授業料に関する業務
- (7) 寮生の管理・指導に関する業務
- (8) 式典及び広報活動（学校案内、定期刊行物及び本校ホームページ等）に関する業務
（写真及び映像等の情報を含む）
- (9) 後援会・同窓会の入退会に関する連絡調整業務

3 資料案内

- (1) 本校の特色、教育課程、入学当初の経費、奨学金等の制度、課外活動、卒業生の進路および学寮などについては、本校作成のパンフレット「学校要覧」、「学校案内」、「学寮案内“磐陽寮”」などを参照してください。
- (2) 入学者募集要項の請求および入学者選抜に関する問い合わせ等は、4(7)をご参照ください。

4 入試成績の簡易開示について（学力検査による選抜・帰国子女特別選抜に適用）

受験者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。

(1) 申請者

学力検査による入学者選抜を受験した者本人に限ります(代理人による申請は認めません)。

(2) 開示内容

学力検査の科目別得点・合格学科（不合格者は志願学科）における総合評価によるランク（Aは合格者の中位以上，Bは合格者の中位未満，Cは不合格者）

(3) 申請期間

令和4年3月10日(木)から令和4年4月22日(金)
(土曜日，日曜日および祝日を除く，9時～12時，13時～16時)

(4) 申請に必要な書類

- ①入試成績開示申請書（別紙様式）
- ②本校受験票

(注) 入試成績開示申請書は，本校窓口に備え付けてあります。

(5) 申請方法

開示を請求する受験者本人が来校し，本校の受験票(コピーは不可)を提示し，学生課の窓口で申請してください。なお，受験票を紛失した場合は，本人を確認できるもの(学生証等)を提示してください。

(6) 開示方法

本人が来校し窓口で申請した場合には，原則として申請した日に閲覧により開示します。

(7) 問い合わせ先

福島工業高等専門学校 学生課入試係
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL 0246-46-0721 FAX 0246-46-0742

5 検定料振り込みについての注意

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合は次のような条件がありますので、ご利用の際はご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から検定料を振り込む場合は現金での振り込みはできず、口座からの振り込みのみ可能となっていますのでご注意ください。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。
- (2) ゆうちょ銀行から振り込む場合は、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書は使用できません。窓口で、ゆうちょ銀行専用の振込依頼書を受け取り、必要事項を記入して窓口から振り込みください。振り込みの際は、振り込み先を確認しますので、本校所定の振込依頼書も持参ください。なお、振り込みにかかる手数料はご負担ください。
- (3) 振り込み後は、窓口で「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」（以下、「振込受付書」という）を受領してください。また、出願の際にはこの振込受付書を出願書類に同封してください。なお、振込受付書はコピーを取り、コピーは大切に保管してください。
- (4) 検定料の振り込みは、ゆうちょ銀行ATM(現金自動預払機)からは行わないでください。

①ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

8000034 振込依頼書(兼振替払出請求書)[電信扱い] 「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛

※本枠からは読み取れないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※印欄は、該当の項目に印をつけてください。
 ▲ 欄の口番の欄は消しゴムで消すかのみご記入ください。

ご依頼日 年 月 日 ※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。
 ※お受取人負担のお取扱いはできません。

金融機関名 銀行 信託 郵便 支店名 支店
 農協 その他

お受取人
 預金種目 1 普通(国庫) 2 当座 口座番号 金額
 4 貯蓄 9 その他 ()

おなまえ 様

振込金額 5万円未満 5万円以上
 料金(消費税込) 648円 864円

おとこ 様
 郵便番号 (-)
 フリガナ
 おなまえ 様

ご依頼人
 日中ご連絡先電話番号 通知番号
 ※お受取人様へ通知を希望される番号(最大10桁)がある場合(お名前前に数字を入れる場合)に左記欄にご記入ください。

記号 A 前号(左詰めでご記入ください)

払出口座番号

払出口座名 郵便番号 (-) ※口座名義人がご依頼人の場合、ご記入は不要です。
 おとこ 様
 おなまえ 様

お届け印

科目 取扱年月日 取扱店番号 取扱時期 取扱券種 委託書番号
 取替 現物券 預心券 代行店番号

請求種別 請求人 委託書番号
 お受取人 様

払出口座番号 払出口座名 委託書番号
 おとこ 様
 おなまえ 様
 住所

振込金額 円 振込料金 円 (消費税等を含む)
 合計金額 円 払出明細番号

手数料の取扱
 振込手数料 振込手数料 本・代・使 () 本・代・法 振
 手数料 手数料 振込 () 任・郵 振
 カーニ:3

OCR用 70600102717F 郵便 ゆうちょ銀行

左下「ご依頼人」の「お名前」欄に記入の際は、受験者氏名の前に受験方法により下記の記号を付けてください。

一般推薦・課題達成型推薦…「HOS」
 学力検査受験者……………「HOG」
 帰国子女特別選抜……………「HOK」

福島高専には、「お客様控え」を提出してください。

「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。受験生は本校が設置する会場以外に、機構ホームページの『最寄り地等受験制度 会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する受験生は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします（下記に記載している本校の「主たる受験地」は、事前相談は不要です）。

【事前相談問い合わせ先】

窓 口：福島工業高等専門学校学生課入試係

電 話：0246-46-0721

相談期間：令和3年11月1日(月)～12月6日(月)

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先(機構ホームページ)

: <https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/index.html>

本校の「主たる受験地」：いわき会場



(機構ホームページ)

※希望する会場の受入可否については、12月15日(水)までにお知らせいたします。

※「一般推薦による選抜」、「課題達成型推薦による選抜」、「帰国子女特別選抜」は、本制度の対象外です。

※事前相談期間締切後については、原則受け付けません。

福島工業高等専門学校の種類教育目標

1. 学習・教育目標

- (A) 地球的視野から人や社会や環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できる能力を養うために、倫理・教養を身につける。
- (B) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を身につける。
- (C) 工学系科目ービジネス系科目の協働（シナジー）効果により、複眼的な視野を持って自ら工夫して新しい産業技術を創造できる能力を身につける。
- (D) イノベーションに即応するために、情報収集や自己学習を通して常に自己を啓発し、問題解決のみならず課題探究する能力を身につける。
- (E) モノづくりやシステムデザイン能力を養うことにより、創造的実践力を身につける。
- (F) 情報技術を活用して、グローバルなコミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身につける。

2. 福島高専ディプロマポリシー（卒業認定方針）

本校では、以下の「養成する人材像」に示す人材を育成する教育内容を学習し、「卒業時に身につけるべき資質能力」を身に付け、所定の単位を修得し、卒業要件を満たした学生に対して卒業を認定します。

○養成する人材像

<準学士課程>

【工学系学科】

- ①十分な基礎学力の上に専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるエンジニア
- ②イノベーションに即応するために、問題解決のみならず課題探究できるエンジニア
- ③モノづくりと環境保全の調和に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できるエンジニア
- ④グローバルなコミュニケーション能力を備え、ビジネス系の知識も獲得した実践的エンジニア

【ビジネス系学科】

- ①自己実現ができるビジネス・スペシャリスト
- ②グローバルなコミュニケーション能力を有するビジネス・スペシャリスト
- ③論理的思考に優れたビジネス・スペシャリスト
- ④長期的な視野をもち、持続可能な社会の実現に貢献するビジネス・スペシャリスト

<準学士課程の各学科で養成する人材像>

【機械システム工学科】

機械工学の専門知識を持って他分野の技術も取り入れることで、高度化するシステムに対処し、常に発展する新しいモノづくりを担うことができる機械技術者を育成する。

【電気電子システム工学科】

電気・電子・情報の技術を応用することでシステムを構築し、産業界の多様な問題を解決できるクリエイティブな技術者を育成する。

【化学・バイオ工学科】

持続可能な社会を実現するために、物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、生物化学、化学工学などの専門分野の基礎知識を身につけ、化学製品、材料、食品など物質生産の分野において幅広く活躍できる化学技術者を育成する。

【都市システム工学科】

持続可能な建設技術を基礎に、社会基盤施設の維持・管理分野や自然災害に対する防災・減災分野で活躍できるシビルエンジニアを育成する。

【ビジネスコミュニケーション学科】

社会に対して広く関心を持ち、進展するグローバル化に対応できるリテラシー（語学や情報など）を身につけるとともに、環境問題に配慮し持続可能な社会に貢献できる人材を育成する。

○卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力

＜準学士課程＞

1. 豊かな教養と周囲に配慮できる人間性
2. 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力
3. 自ら工夫し、広い視野から新しい発想ができる能力
4. 自己を啓発し、課題を分析して解決する能力
5. モノづくりやデザインの実践力
6. 基礎的なコミュニケーション能力と情報技術を活用したプレゼンテーション能力

3. 福島高専カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

本校では、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を身につけるため、次のような教育課程の編成方針、および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

○編成方針

- (1) 準学士課程においては、くさび型※の構成であり、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」を身につけるための必修科目、選択科目を適切に設定した、5年一貫の体系的な教育課程を編成する。

※くさび型の教育課程：低学年次においては一般科目を多く配置し、学年の進行に伴い専門科目を多く配置する教育課程

- (2) 「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を深化させるため、高学年、および専攻科においては、モノづくり、校外での体験、問題解決能力の養成等に関する科目を開設する。
- (3) 教育課程を編成するに当たっては、全学年で基本的な知識・技能の修得、それらを応用し思考、判断する能力の修得、それらを自発的に学習できる態度・志向性を修得できるように配慮して、科目配置や科目毎の授業内容や授業計画を設計しシラバスに記載し、シラバスにしたがい教育を実施する。

○成績評価基準

- (1) 科目の成績評価は、定期試験の成績および平素の成績をもとに行う。評価方法はシラバスに記載し、記載された評価方法に基づいて公平に成績評価を実施する。
- (2) 講義科目では主に定期試験等の筆記試験により、演習科目では筆記試験やレポート等を総合的に勘案し、さらに、実験・実習科目ではレポートや授業態度等により評価する。
- (3) 科目の成績評価結果は100点法で行い、60点以上を合格とする。
- (4) 各科目について、成績評価が60点以上の場合は単位の修得を認定する。

○準学士課程 学科ごとの教育課程編成方針

ディプロマポリシーで掲げた能力を育成するために、各学科では、以下の科目群を系統的に編成する。

【機械システム工学科】

1. 豊かな教養と周囲に配慮できる人間性を修得できるように、低学年に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
2. 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に力学系、材料・加工系、機構・制御系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
3. 自ら工夫し、広い視野から新しい発想ができる能力を修得できるように、高学年次に機械工学に関連する他分野の科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
4. 自己を啓発し、課題を分析して解決する能力を修得できるように、高学年次に工学セミナーや卒業研究等の問題解決能力、応用力、チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
5. モノづくりやデザインの実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験等の技術習得に関する実技科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
6. 基礎的なコミュニケーション能力と情報技術を活用したプレゼンテーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次にセミナー系科目、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

【電気電子システム工学科】

1. 豊かな教養と周囲に配慮できる人間性を修得できるように、低学年に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
2. 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に電力系、電気・電子系、情報系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
3. 自ら工夫し、広い視野から新しい発想ができる能力を修得できるように、高学年次に電気及び電子工学に関連する他分野の科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
4. 自己を啓発し、課題を分析して解決する能力を修得できるように、高学年次に工学セミナーや卒業研究等の問題解決能力、応用力、チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

5. モノづくりやデザインの実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験等の技術習得に関する実技科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
6. 基礎的なコミュニケーション能力と情報技術を活用したプレゼンテーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次にセミナー系科目、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

【化学・バイオ工学科】

1. 豊かな教養と周囲に配慮できる人間性を修得できるように、低学年に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
2. 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に応用化学系、生物工学系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
3. 自ら工夫し、広い視野から新しい発想ができる能力を修得できるように、高学年次に応用化学に関連する他分野の科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
4. 自己を啓発し、課題を分析して解決する能力を修得できるように、高学年次に工学セミナーや卒業研究等の問題解決能力、応用力、チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
5. モノづくりやデザインの実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験等の技術習得に関する実技科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
6. 基礎的なコミュニケーション能力と情報技術を活用したプレゼンテーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次にセミナー系科目、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

【都市システム工学科】

1. 豊かな教養と周囲に配慮できる人間性を修得できるように、低学年に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
2. 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に力学系、環境系、計画系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
3. 自ら工夫し、広い視野から新しい発想ができる能力を修得できるように、高学年次に土木工学に関連する他分野の科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
4. 自己を啓発し、課題を分析して解決する能力を修得できるように、高学年次に工学セミナーや卒業研究等の問題解決能力、応用力、チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
5. モノづくりやデザインの実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験等の技術習得に関する実技科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
6. 基礎的なコミュニケーション能力と情報技術を活用したプレゼンテーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次にセミナー系科目、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

【ビジネスコミュニケーション学科】

1. 豊かな教養と周囲に配慮できる人間性を修得できるように、低学年に理系教養科目，文系教養科目および情報リテラシー科目を設け，講義を主とした学修を実施する。
2. 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように，中学年次から高学年次に経済・経営・会計系，数理・情報系，語学・人文系を基盤とした社会科学の専門基礎科目を設け，講義を主とした学修を実施する。
3. 自ら工夫し，広い視野から新しい発想ができる能力を修得できるように，高学年次に経済・経営に関連する他分野の科目を設け，講義を主とした学修を実施する。
4. 自己を啓発し，課題を分析して解決する能力を修得できるように，高学年次にセミナーや卒業研究等の問題解決能力，応用力，チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け，実習を主とした学修を実施する。
5. モノづくりやデザインの実践力を修得できるように，低学年次にビジュアル情報等の技術習得に関する実技科目を設け，演習を主とした学修を実施する。
6. 基礎的なコミュニケーション能力と情報技術を活用したプレゼンテーション能力を修得できるように，中学年次から高学年次にセミナー系科目，卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け，実習を主とした学修を実施する。

入学願書・写真票・受験票「記入上の注意」

- 1 各欄は、黒ボールペン等を使用し、楷書で正確に記入してください。
- 2 「志望学科」欄は、次により記入してください。
 - (1) 一般推薦志願者および課題達成型推薦志願者
志願者の選抜は第1志望の学科で行いますが、選抜の結果、合格内定者とならなかった場合は、(2)の学力検査志願者となることができます。第2志望および第3志望の学科がある場合は、その学科名も記入してください。
なお、第2志望および第3志望の学科がない場合は、当該欄に斜線を引いてください。
 - (2) 学力検査志願者
志願者は、第2志望及び第3志望の学科を含めて選抜を行いますので、第2志望および第3志望の学科がある場合は、その学科名を記入してください。
なお、第2志望および第3志望の学科がない場合は、当該欄に斜線を引いてください。
 - (3) 帰国子女特別選抜志願者
志願者は、第1志望のみの出願となります。第1志望の学科名を記入してください。
なお、第2志望および第3志望の学科欄には斜線を引いてください。
- 3 「選抜区分」欄は、一般推薦、課題達成型推薦、学力検査、帰国子女のいずれか1つを○で囲んでください。
- 4 「学力検査受験地」欄は、受験を希望する会場のいずれか1つを○で囲んでください。
なお、一般推薦志願者および課題達成型推薦志願者の面接等の受験地は「いわき会場」のみですが、2の(1)により学力検査を受験することとなった場合の希望会場を○で囲んでください。
また、帰国子女特別選抜受験者の受験地は「いわき会場」のみとなります。
- 5 「性別」欄は、男・女いずれかを○で囲んでください。
- 6 通知を受ける場所が現住所と同じ場合は、「同上」と記入してください。
なお、住所には、アパート名、部屋番号も記載してください。
帰国子女特別選抜出願者で、出願の時点で日本国外に居住している方は、事前に本校学生課入試係にご相談ください。
- 7 「元号」欄は、令和・平成いずれかを○で囲んでください。
- 8 「中学校卒業後の経歴」欄は、過年度卒業者のみ記入してください。
- 9 保護者の現住所が志願者の現住所と同じ場合は、「志願者と同じ」と記入してください。
- 10 最寄り地等受験制度の利用を希望する場合は、受験地欄の「最寄り地等」に○で囲んで、機構ホームページの「会場一覧」を参照し、入学願書や受験票、写真票に、事前相談の結果、受け入れ可となった会場の「会場番号、会場略称」を記載してください。
【記載例：最寄り地等(61函館高専)】
- 11 ※印欄は、記入しないでください。

調査書「記入上の注意」

1 「各教科の学習の記録」

(1) 在籍者の評定

第1学年および第2学年の欄は、「中学校生徒指導要録」から転記してください。

第3学年の欄は、3学期制の学校では1学期および2学期の成績をそれぞれ記入してください。

(注) 1 評定の合計欄は、「一般推薦」および「課題達成型推薦」の入学志願者についてのみ、必修5教科(国語、社会、数学、理科、外国語)の評定合計並びに、他の4教科(音楽、美術、保健体育、技術家庭)の評定合計をそれぞれ記入してください。

2 前・後期制の場合

評定の第3学年「1学期」の欄に前期の成績のみを記入し、評定の合計は前期を2倍して計算してください。

(「3ページおよび7ページの1出願資格(4)」への対応)

(2) 過年度卒業者の評定

第1学年から第3学年まで「中学校生徒指導要録」から転記してください。

第3学年については、「1学期」の欄に学年の成績を記入してください。

2 「特別活動の記録」(一般推薦・課題達成型推薦のみ記入)

(1) 「中学校生徒指導要録記入上の注意」に準じて、各学年の生徒の活動状況について各内容ごとに記入してください。

3 「特別活動以外の諸活動の記録及び特技」(一般推薦・課題達成型推薦のみ記入)

「中学校生徒指導要録」の〈総合的所見および指導上参考となる諸事項〉のうち、生徒の特技および取得資格で特に顕著なもの(柔道・剣道・珠算の段位、英検・漢検の級、アマチュア無線の級、危険物取扱者の資格等)を記入してください。

4 「欠席の記録」(一般推薦・課題達成型推薦のみ記入)

第2学期末までの合計を記入してください。

7日以上欠席の場合には、その理由を記入してください。

5 受験番号欄は、記入しないでください。

活動報告書「記入上の注意」(課題達成型推薦用)

7ページの1. 出願資格(5)の①～⑤に該当する活動を、「中学校生徒指導要録」を参考に、1つ以上(該当するものはすべて)記入してください。なお、学校以外での活動についても記入することができます。

①から④までは、活動結果を証明できる書類の写し(要項、結果、賞状、資格証など)を添付してください。ただし、⑤生徒会長についての添付書類は必要ありません。

活動報告書に記載した内容は、調査書の「特別活動の記録」と「特別活動以外の諸活動の記録及び特技」に必ず記入してください。

活動報告書に添付する「活動結果を証明できる書類の写し(要項・結果など)」が用意できない場合は、発行元、または主催者が発行する書類をもってこれに代えることができます。

①「モノづくり」に関する活動

公的な機関が主催する都道府県規模以上の大会等で入賞以上の成績をおさめた活動について、**大会等名(正式名称)**、**大会等主催者**、**開催時期**、**結果**を記入してください。

該当例) 福島県中学生ロボット競技会入賞、中学生プログラミングコンテスト(3位以内)、中学生ブリッジデザインコンテスト(3位以内)

②「スポーツ、文化・芸術」に関する活動

公的な機関が主催する大会等で、県大会入賞以上の成績、地方大会・全国大会等出場以上の成績をおさめた活動やまたは県選抜以上の代表として大会等に出場した実績について、**大会等名(正式名称)**、**大会等主催者**、**開催時期**、**結果**を記入してください。

該当例) 中体連等の県大会や部活外でのスポーツの県大会の入賞
(団体種目は、3位以内、個人8位以内。団体は登録選手全員が該当)
音楽関係(合唱・吹奏楽など)のコンクール県大会(金賞以上)
放送コンテストやスピーチコンテストの県大会(大賞)
作文等や書道・絵画等のコンクールの県展(特選など最上位の賞)

③「学術・研究」に関する活動

公的な機関が主催する都道府県規模以上の大会等で入賞以上の成績をおさめた活動について、**大会等名(正式名称)**、**大会等主催者**、**開催時期**、**結果**を記入してください。

該当例) 野口英世賞、朝河貫一賞など

④高度な資格・検定の取得

高校生レベル以上の級・種別を取得したのものについて、**資格・検定の名称**、**実施団体名**、**取得した級・種別**、**取得年月日**を記入してください。ただし、珠算・書道、スポーツ、技芸(華道・茶道など)に関する資格・検定は含みません。

該当例) 実用英検準2級以上、漢字検定2級以上、数学検定準2級以上、理科検定準2級以上、デジタル技術検定3級以上、第3級アマチュア無線技士以上、危険物取扱者乙種以上、全国経理教育協会簿記能力検定3級以上、ICTプロフィシエンシー検定試験準2級以上など

⑤生徒会長

生徒会活動において会長をつとめた場合、任期、**生徒会長として達成したことや成し遂げたこと**を記入してください。

※令和4年度課題達成型推薦による選抜の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため中止、延期または規模縮小等となったスポーツ・文化関係の行事、大会や資格検定等の試験などの各種活動に入学志願者が参加できなかったことのみをもって不利益を被ることがないように配慮します。

